

三條別院のご案内

真宗大谷派三條別院

TEL・0256-33-0007

E-mail・sanjo-betsuin@wing.ocn.ne.jp

三條別院に想う

十七、八年前に組の会計を任されて以来、諸会議等で別院・教務所へ足を運ぶようになりました。

今回「三條別院に想う」という原稿依頼があり、当時から関わりを思い出しながら書く事になりました。

別院の会議といえば、院議会ですが、私が初めて出席した院議会でのご意見の中に、本堂のお花の件がありました。

本山へ行くといつも立花されておりますが、別院本堂の立花は残念な事に、枯れた状態の花が見られる事がある。この越後の崇敬の場である三條別院であるなら、ご門徒の皆さんがいつ来られても、気持ち良くお参りして頂けるお荘厳をお願いしたいとのご意見でありました。

私も平常時、お花が枯れたままの状態は時々ありますが、その当時は大きい本堂の立花は経費も労力も掛かるだろうなど、その程度の思いしかありませんでしたが、今回原稿を書くにあたり、毎月のように会議で別院・教務所へ行っているにも関わらず、本堂で手を合わす事さえせず、ましてや、荘厳を見る事などなく帰路に

ついていた自分に気付かされました。

毎年勤められる別院報恩講、二〇一五年に勤められる教区・別院御遠忌法要に向けて、御懇志・団参・出仕と、組との連携が重要視される場所ですが、一人一人が別院をどの様に思い考えて、報恩講・宗祖御遠忌法要を自身の問題として受け止めて、初めて私の報恩講・宗祖御遠忌法要となると思います。

今回の原稿依頼は、良い機縁であり、改めて、別院の存在を考える事が出来ました事、感謝いたします。

(第二十組 圓周寺 青木 仁 氏)

○次回の「三條別院に想う」は、

青山 信太郎 氏

(第十五組 淨福寺住職)

よりご執筆いただきます。

■三條別院公開講座開催

去る五月十九日、



【原始仏教から親鸞まで言及する北西氏】

三條別院公開講座が開催されました。「地域に開かれた別院」という課題の一環として、第一回となる今年北西憲二氏(森田療法研究所長・北西クリニック院長)に「現代人の悩みと仏教―仏教思想との関連から」という課題でお話をいただきました。森田療法は「苦しみ」を否定しない仏教・東洋思想にはぐくまれた心理療法であるという視点で、その哲学を研究している北西氏ですが、西洋の認知行動療法・行動療法とも比較しつつ、「現代」という視点で講義されました。

質疑応答では、臨床医である北西氏に、「森田療法を行った際、服薬はどうするのか」など具体的な質問がなされ、また来場者から活発な質疑が飛び交いました。講題にもある「現代人の悩み」とは、実に多種多様であり、この公開講座がそれらに答えられるものとなればと感じます。



【100人を超える聴衆が本堂に集まった】

春の別院奉仕研修開催

去る五月二十四日、推進員連絡協議会・別院有志の会が共同で、春の別院奉仕研修を開催しました。幸い天候に恵まれ、屋内清掃・野外の



【晴天で境内の草刈りもはかどった】

みました。小岩井推進員会長も数年前にこの奉仕研修を始めた時を振り返りながら挨拶され、現在別院はだんだんにきれいになっていると話されました。今年は四十名を超す参加者が奉仕活動を行いました。念仏は、易行であるが故に、多くの門徒を生み出します。草がきれいに刈られた庭を前に、その力を感じた一日でした。



【勤行と恒例(?)の相撲甚句】

御命日(二十八日)の集い

宗祖親鸞聖人の御命日であります毎月二十八日に、「御命日の集い」を本堂にて、日中法要と法話、その後、座談会の場を開いております。どなたでもお参りいただけます。皆様のご参詣をお待ち申し上げます。
なお、前日(二十七日)はお速夜法要を、午後一時三十分よりお勤めしております。

【六月二十八日(金)】

午前十時 お勤め(御命日) 日中法要
文類偈 行四句目下

念仏讃 洵五
和讃 回口 次第六首
回向 願以此功德

◎今月の法話講師

美野 彰恵 氏(第二十一組 本幢寺)

※新年度の講師一覧は次号でお知らせいたします。

定例法話会のご案内

毎月十三日には、「両度の命日」と呼ばれている前門首のご命日です。また、蓮如上人も御文の中で、この「両度の命日」についてお書きになられています。(四帖目十二



【佐々木祐玄氏】

通)三条別院の一番古い建造物である旧御堂で仏法に触れるひと時を味わいませんか。
皆様、お気軽にお越しください。

◇日時 毎月十三日 ※八月、一月は除く
午後一時三十分より(二時間程度)
◇場所 三条別院 旧御堂
◇講師
五月〜七月 佐々木祐玄氏(第十五組 光善寺)

別院書道教室のご案内

昨年の十月より、当別院を会場に書道教室を開催しております。受講生を追加募集いたしますので、ご希望の方は是非ご連絡ください。

◇開催日 毎月二回(第二、第四水曜日)
◇時間 午後六時三十分〜八時
◇募集人数 十名
◇講師 木原光威氏(新潟県書道協合理事)
◇持ち物 筆(大・小)、硯、下敷、文鎮、墨液、半紙、新聞紙
◇月謝 二五〇〇円(テキスト代含む)

別院声明教室のご案内

別院声明教室を毎月一回開催しております。門徒の朝夕のお勤め、得度考査の内容の講習です。現在、一通りの練習を終え、質疑等を行っております。参加ご希望の方は是非ご連絡ください。
◇開催日 六月十三日(木)
◇時間 午後六時から午後八時まで
◇会場 教区同朋会館(三条別院内)

◇講習内容 正信偈 草四句目下

念仏讚 淘三

和讃 弥陀成仏のこのかたは

次第六首

回向 願以此功德

◇講師 島津 崇之氏(第十八組 満行寺)

◇持ち物 『真宗大谷派勤行集』または

『大谷聲明集上』念珠、筆記具

◇参加費 五〇〇円/回

■ 同朋会館に宿泊される方へお願い

同朋会館に宿泊される方は、宿泊当日に同朋会館一階の事務所にごさいます宿泊者帳に記帳してください。その後、シートクリーニング代五〇〇円とシーツを引換させていただきます。

なお、宿泊される方は、翌朝七時より本堂にて晨朝が勤まりますので、お参りいただきますようお願い致します。

■ 三条別院巡回について

かつて三条別院の御影をお迎えし、各門徒のお宅で聞法会が頻繁に行われておりました。しかし、時代の流れや、世代の交代で今では数えるほどしか行われていません。ご門徒の皆様をはじめ有縁の方にご案内いただき、三条別院巡回がより多くの方々のお念仏をいただくご縁となりますことを、願っております。

※巡回の曜日・時間等はできるかぎりご都合に合わせてますので、お気軽にご相談させていただきます。

■ 別院奉仕研修について

先達の篤き御懇念によって護持されてきた三条別院にお越しいただき、その歴史に触れていただくとともに、現代の様々な問題を抱える私たちが、真宗門徒として親鸞聖人のみ教えに出遇う、そのような奉仕研修会を開いてみませんか。

ともに語り合い、人間として生きる意味を尋ねていく場となればと考えております。
○日程及び内容について、ご要望等ございましたらご相談承ります。
○奉仕研修会を参加いただく方(団体)の、冥加金は左記のとおりです。

◎冥加金

・日帰り 一、五〇〇円
・一泊二日 二、五〇〇円

◎食事代(昼・夕食は業者発注のため)

・朝食代 五〇〇円
・昼食代 一、〇〇〇円程度
・夕食代 一、三〇〇円程度

■ 三条別院有志の会について

三条別院では「三条別院有志の会」という集いを持ち、法話や座談会(茶話会)など、近隣の方をはじめ、有縁の方にお集りいただいております。現在十余名の有志の皆様によって活動しておりますが、「三条別院有志の会」では、より多く

の方にご参加賜りたく、新たな参加者を募っております。お気軽にどなた様でもご来院くださいますよう、ご案内申し上げます。お問い合わせは三条別院まで。

◇◇ 編集後記 ◇◇

「医療格差」という言葉がある。地方では医師不足に伴い小児科や産婦人科などをはじめとする病院が減少していて、必要な医療が受けられないという問題があるという。しかし、それだけでなく、日頃自分や身内が病院にお世話になる分野でも、新潟県では満足な治療が受けられないという切に感じる。かといって、都市の病院に通うことは困難である。現代の医学では治るはずの病気が、新潟県では治らない。これは、後悔を伴う苦悩を生み出すこともあり、微妙な問題である。

さて、記事の通り公開講座に、森田療法研究所所長の北西憲二氏をお招きした。公開講座のポスターを本町通りに貼っている時、歩行者から尋ねられた。「この先生どこの人？」と。「東京です」と答えると「ほう、(好印象)」という領きがあった。「東京の先生が来る」ということに、純粹に県民は期待をしているのである。三条別院公開講座は、宗派の枠に捉われないということを謳っている。別院公開講座が、最先端の知恵(智慧)を、新潟にもたらすための機縁となっていけば嬉しい。